

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念を職員の出入りに掲示し、常に気に掛けることで理念を共有し、実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナのこともあり施設側からイベントを発信や施設への受入がなかった。しかし、徐々にボランティアの受け入れなどを開始し地域の一員として交流していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館主催のイベントが再開しているので活用してはどうか。 ● (地元でのイベントが少ないなら) 栃木市内のイベントに参加してみたらいいと思う。 		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の現状を報告し、出席者の意見を伺っている。その意見をサービスの向上に活かしている。しかし、参加者が少ないのが悩みである。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治会長等の参加が難しいなら、民生委員や老人会に参加してもらってみたいはどうか。 ● ご家族を個別に誘ってみようようにしてみるといいのでは。 		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当の地域包括支援センターの方と連絡を取り、実情や取り組みを伝えられている。運営推進会議に出席していただき、協力体制を構築している。	<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろ協力してもらっていて、十分に連携していると思う。 		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケース会議などを通して、身体拘束をしない介護を心がけるようにしている。また、1月に1回に研修を行い、研鑽に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に高齢者虐待について研修している。個々が自覚を持ち、気を付けることはもちろんだが、管理者等も施設内での行動に注意を払い、虐待防止につながりそうなことを注意するなど、防止対策に努めている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	



7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	社内研修で各種制度について学んでいる。会議で個々の利用者に必要かどうかの検討をしている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者が契約の締結の際は、面談形式で不安や疑問に答えている。改定の際は書類を送付し、理解を求めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議の開催時や投書箱で意見や要望を表せる機会を設けている。ただし、参加者が少なかったり投書箱への投書が少なかったりなど、意見を出していない方が多いので、運営に反映できていないのではないかとも思える。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ● 柔軟に対応していただき、大変ありがたい。 	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月1回の会議の際に職員から意見や提案を聞く機会を設けている。その他、面談の希望を有するものは個別に対応している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の技量に応じた手当や勤務状況に応じた手当の支給など働きやすい職場環境の整備、資格取得や研修の履修によって得られる手当の支給を行っている。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	社外研修を掲示板に掲示して研修の希望を取ったり、資格取得のための資金の支援や勤務の融通などしたりしている。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	栃木県認知症高齢者グループホーム協会に加盟し、同業者と交流する機会を作っている。今後はZOOMIによる会合などに参加を促していきたい。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒に生活しているという関係を重視しており、レクリエーションや片付けなどを一緒に行っている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との外出やなじみの美容室などへの外出など、今までの関係が途切れないような支援を行っている。	● 現在の支援で十分思える。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員それぞれが利用者とコミュニケーションをとることで、利用者の思いや希望を把握するようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全ての職員が利用者話し合い、意見や希望をよりよく生きるための課題やケアに反映している。家族とはなかなか会う機会がなく話し合いが不十分である。計画作成担当者はそれを活かして、介護計画を作成している。	● 家族と話し合う機会をもっと増やそうにしてみようか。 ● 意見を言い出せない家族もいるのではないか。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日個別記録に記入して、情報を共有している。それをより良い支援になるように工夫したり、生活しやすい介護計画の作成に活かしたりしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	● 月に1回の報告で様子がわかるので安心して任せられる。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の身体や精神状況に応じ、必要な福祉用具を導入したり、食事形態を変更したり、インフォーマルサポートを提供したりしている。	● 困ったときの対応が本人が満足していればよいと思う。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の医療との連携は取れているが、地域の社会資源との連携がうまく取れていない。	● 地域の方と知り合う機会を増やしてみようか。 ● 老人会の方から始めてみようか。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	月2回の内科医の往診、週1回の歯科医の往診などを主に、必要に応じ受診するなどの、適切な医療が受けられる支援をしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	計画作成担当者が家族や病院関係者と連絡を取り、早めの情報交換に努めている。また、病院関係者からの相談に応じ、退院後の生活の体制づくりをしている。		<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康面で不安な状況が続いているが出来事や情報を良く報告している。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	重度化した場合や終末期の対応など事業所で可能な対応を家族に適宜、説明している。看取りの場合は地域の医療機関や訪問看護などと連携して取り組んでいる。		<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康面で不安な状況が続いているが出来事や情報を良く報告している。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	急変時や事故発生時の対応研修を定期的実施している。急変時や事故発生時のマニュアルを作成し、それに沿った対応を取るようになっている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	年に2回の避難訓練は実施している。しかし、地域の協力体制が上手く築けていない。	<ul style="list-style-type: none"> まずは地域の方とつながりを持つ機会を探し、それをどう今後の関係性に結び付けるかが問題だと思う。 	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	誇りを損ねないような声掛けや対応を行うように気を付けている。排泄の支援などはプライバシーに配慮して行うようにしている。		<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> いろいろ柔軟に対応していただきありがたい。 十分に配慮していただいてありがたい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	施設側の都合や要望を優先せず、利用者のペースやライフスタイルに合わせて、個別の希望に応じた支援をしている。			